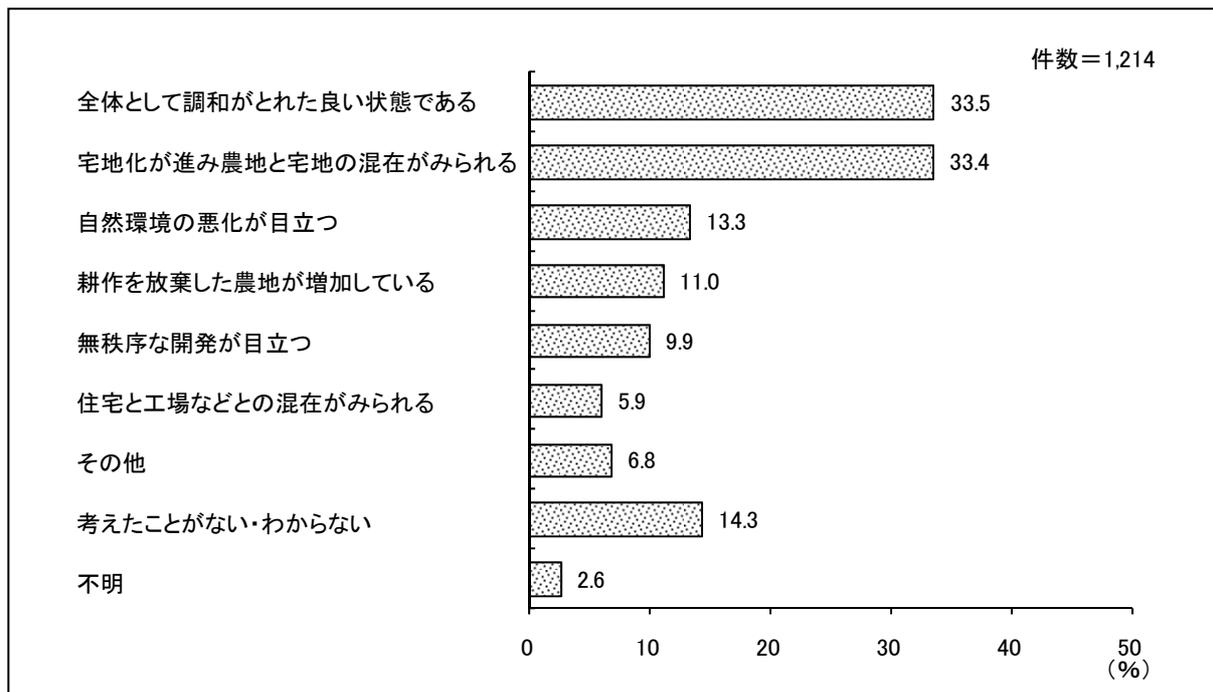


### 3 土地利用について

#### (1) 土地利用の現状

問7 土地の使い方のことを土地利用といいます。あなたの住んでいる地域の土地利用の現状についてどう思いますか。 【2つまで○】

「全体として調和がとれた良い状態である」と  
「宅地化が進み農地と宅地の混在がみられる」への回答が3割台



土地利用の現状について聞いたところ、「全体として調和がとれた良い状態である」(33.5%)及び「宅地化が進み農地と宅地の混在がみられる」(33.4%)が3割台と多い。「自然環境の悪化が目立つ」(13.3%)及び「耕地を放棄した農地が増加している」(11.0%)は1割台となっている。

**属性別**

		全体(件数)	全体として調和がとれた良い状態である	宅地化が進み農地と宅地の混在がみられる	住宅と工場などとの混在がみられる	無秩序な開発が目立つ	耕作を放棄した農地が増加している	自然環境の悪化が目立つ	その他	考えたことがない・わからない	不明
地区別	旧市内地区	361	39.1	18.0	6.6	13.0	3.0	11.4	7.5	19.4	3.3
	北上地区	300	39.0	33.0	3.3	11.7	8.0	13.3	10.0	11.7	2.3
	錦田地区	244	31.1	39.8	3.3	7.8	16.4	17.6	5.7	11.5	2.0
	中郷地区	274	23.0	48.9	9.5	5.8	20.8	11.3	3.6	13.1	1.8

単位:%

: 1位
  : 2位
  : 3位

**地区別**

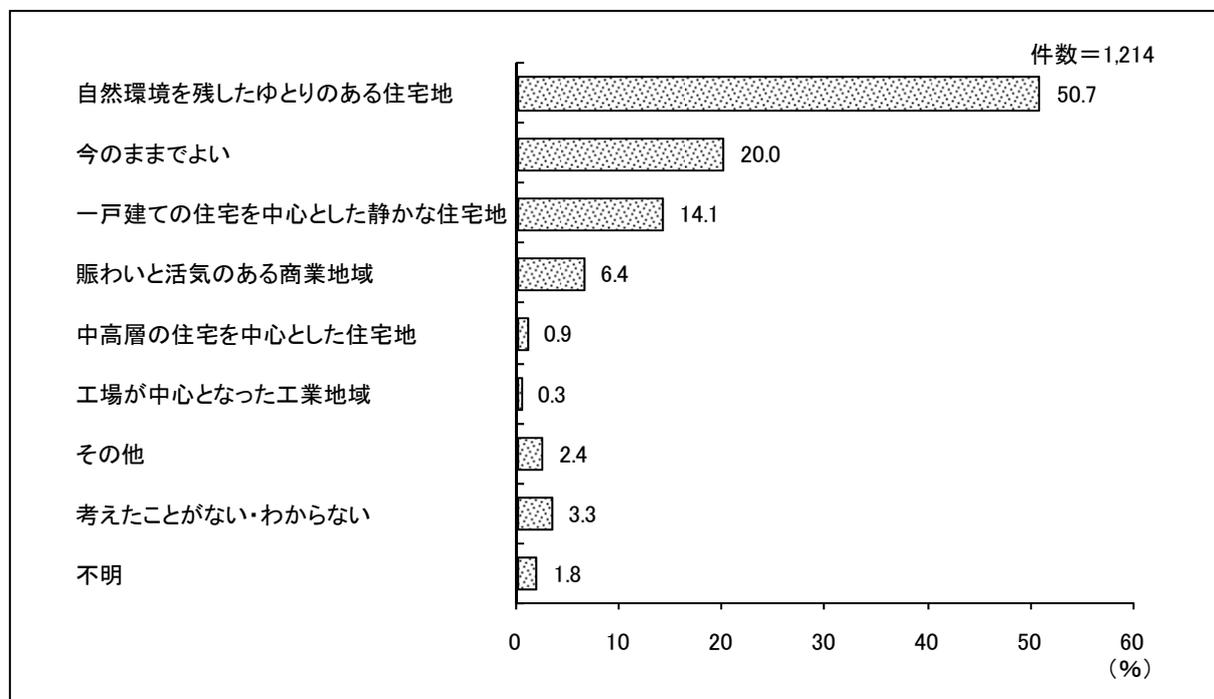
「全体として調和がとれた良い状態である」は旧市内地区(39.1%)、北上地区(39.0%)及び錦田地区(31.1%)で3割台となっているのに対し、中郷地区(23.0%)では2割台と差が見られる。「宅地化が進み農地と宅地の混在がみられる」は中郷地区(48.9%)で5割近くと最も多く、次いで錦田地区(39.8%)、北上地区(33.0%)で3割台となっているのに対し、旧市内地区(18.0%)では2割未満と大きな差が見られる。また、「耕作を放棄した農地が増加している」は中郷地区(20.8%)及び錦田地区(16.4%)で多いのに対し、北上地区(8.0%)及び旧市内地区(3.0%)では1割未満と少ない。

## (2) 土地利用の将来

問8 あなたの住んでいる地域が、将来どのような地域になったら良いと思いますか。

【1つに〇】

「自然環境を残したゆとりのある住宅地」が半数以上



将来どのような地域を希望するか聞いたところ、「自然環境を残したゆとりのある住宅地」(50.7%)が半数以上を占め、次いで「今のままでよい」(20.0%)、「一戸建ての住宅を中心とした静かな住宅地」(14.1%)となっている。

**属性別**

		全体(件数)	今のままでよい	自然環境を残したゆとりのある住宅地	一戸建ての住宅を中心とした静かな住宅地	中高層の住宅を中心とした住宅地	賑わいと活気のある商業地域	工場が中心となった工業地域	その他	考えたことがない・わからない	不明
地区別	旧市内地区	361	22.4	45.4	11.4	0.8	11.6	0.6	2.2	2.8	2.8
	北上地区	300	18.3	55.7	15.0	1.7	4.7	0.0	1.7	1.3	1.7
	錦田地区	244	20.1	50.4	17.2	0.8	3.7	0.4	2.5	4.1	0.8
	中郷地区	274	18.2	53.6	12.0	0.4	4.7	0.4	3.6	5.5	1.5

単位：%

: 1位
  : 2位
  : 3位

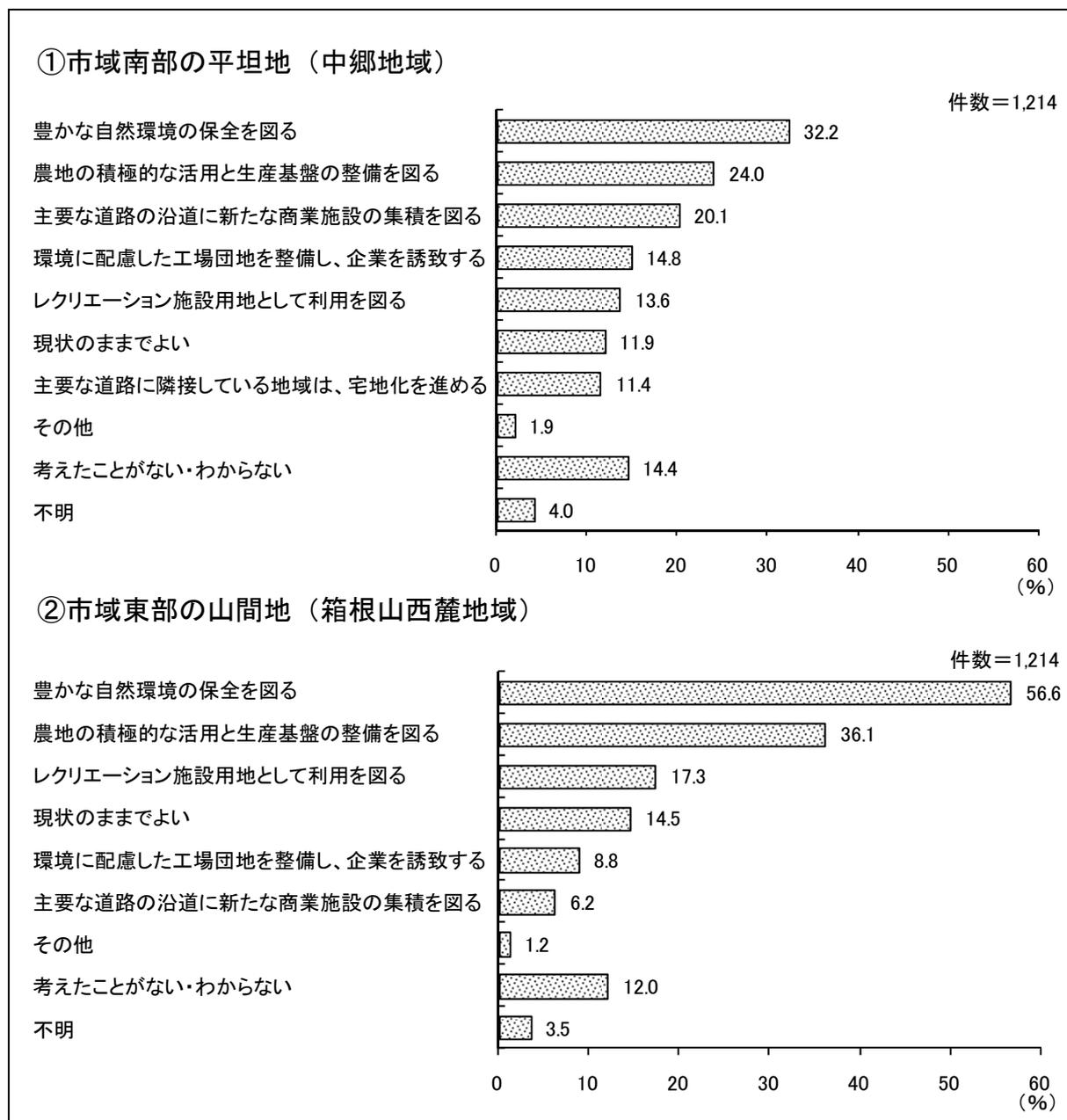
**地区別**

いずれの地区でも「自然環境を残したゆとりのある住宅地」への回答が最も多かったものの、北上地区(55.7%)、中郷地区(53.6%)及び錦田地区(50.4%)で5割台となっているのに対し、旧市内地区(45.4%)では4割台と差が見られる。一方、「賑わいと活気のある商業地域」では旧市内地区(11.6%)で1割台であるのに対し、北上地区(4.7%)、中郷地区(4.7%)、錦田地区(3.7%)では1割未満となっている。

## (3) 土地利用で重視されるべき点

問9 あなたは、次の地域について、今後、特にどのような点を重視した土地利用を進めていくべきだと思いますか。 【各2つまで〇】

## 「豊かな自然環境の保全を図る」が最多



市域南部の平坦地（中郷地域）の土地利用で重視すべき点を聞いたところ、「豊かな自然環境の保全を図る」(32.2%)が最も多く、次いで「農地の積極的な活用と生産基盤の整備を図る」(24.0%)、「主要な道路の沿道に新たな商業施設の集積を図る」(20.1%)と続き、2割以上となっている。

市域東部の山間地（箱根山西麓地域）の土地利用で重視すべき点を聞いたところ、「豊かな自然環境の保全を図る」(56.6%)が最も多く、次いで「農地の積極的な活用と生産基盤の整備を図る」(36.1%)と続き、3割台となっている。